

富士製鉄株式会社 釜石製鉄所納

逆転式二重粗圧延機用電気設備

日立製作所において昨年5月受注し本年2月出荷完了した本設備は、大形型鋼および重軌条の粗圧延用にして主ロール駆動用電動機：

3,000HP 直流電動機，±600V ±40/100rpm...1台

同上用イルグナー変流機：

1,250KW 直流発電機，±600V 600/720rpm...2台

3,000HP 誘導電動機，3,300V 50/60～10極...1台

100,000HP-sec./144,000HP-sec. 蓄勢輪.....1台である。

本設備は頻繁な加減速あるいは正逆転を行い、生産能率向上のため電動機に加減速、正逆転をきわめて短時間に行う必要があるが、またこのため電動機には過大電流が流れようとするが、これを阻止するための過電流制限装置を必要とする。したがって本設備の自動制御装置の性能の適否はきわめて重要な問題である。この点に関し日立研究所電動力応用実験室における各種の実験と、アナログ計算器による制御回路の解析結果を比較検討して設計製作を行い組合せ試験結果は予期通りの優秀なる効果を収めた。

なお主電動機には分路リアクトルを設け、負荷電流の

急激な変動に対しても良好な整流特性が得られるよう考慮してある。この結果はいずれも好調で満足すべき結果を収めた。

インド鉄道 BWS 型 130t 積

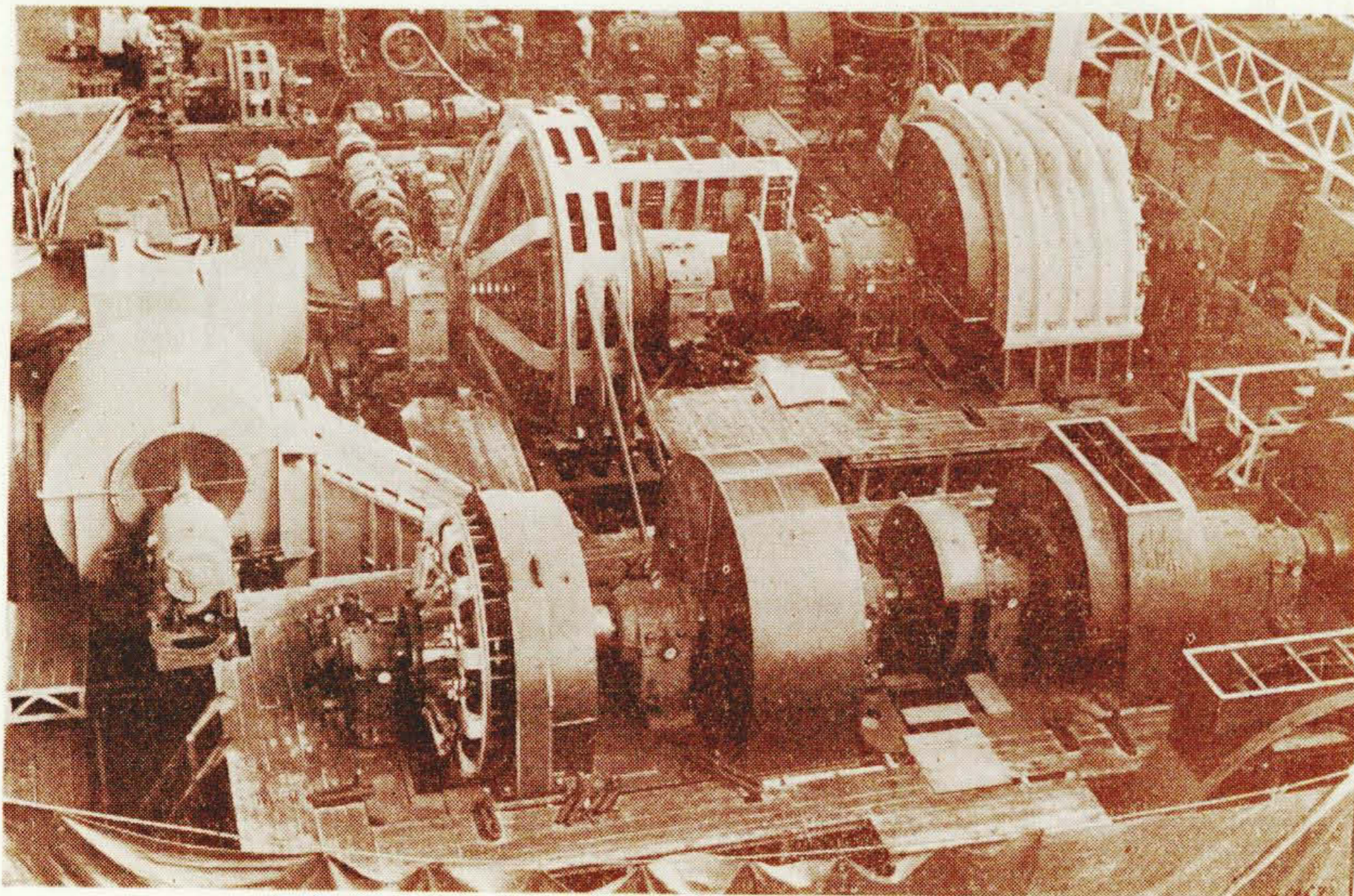
低床式大物車完成

インド鉄道より受注した 130t 積大物車 7 輛は日立製作所釜石工場において着々完成、最初の 1 輛について荷重試験ならびに曲線通過試験などが行われた。

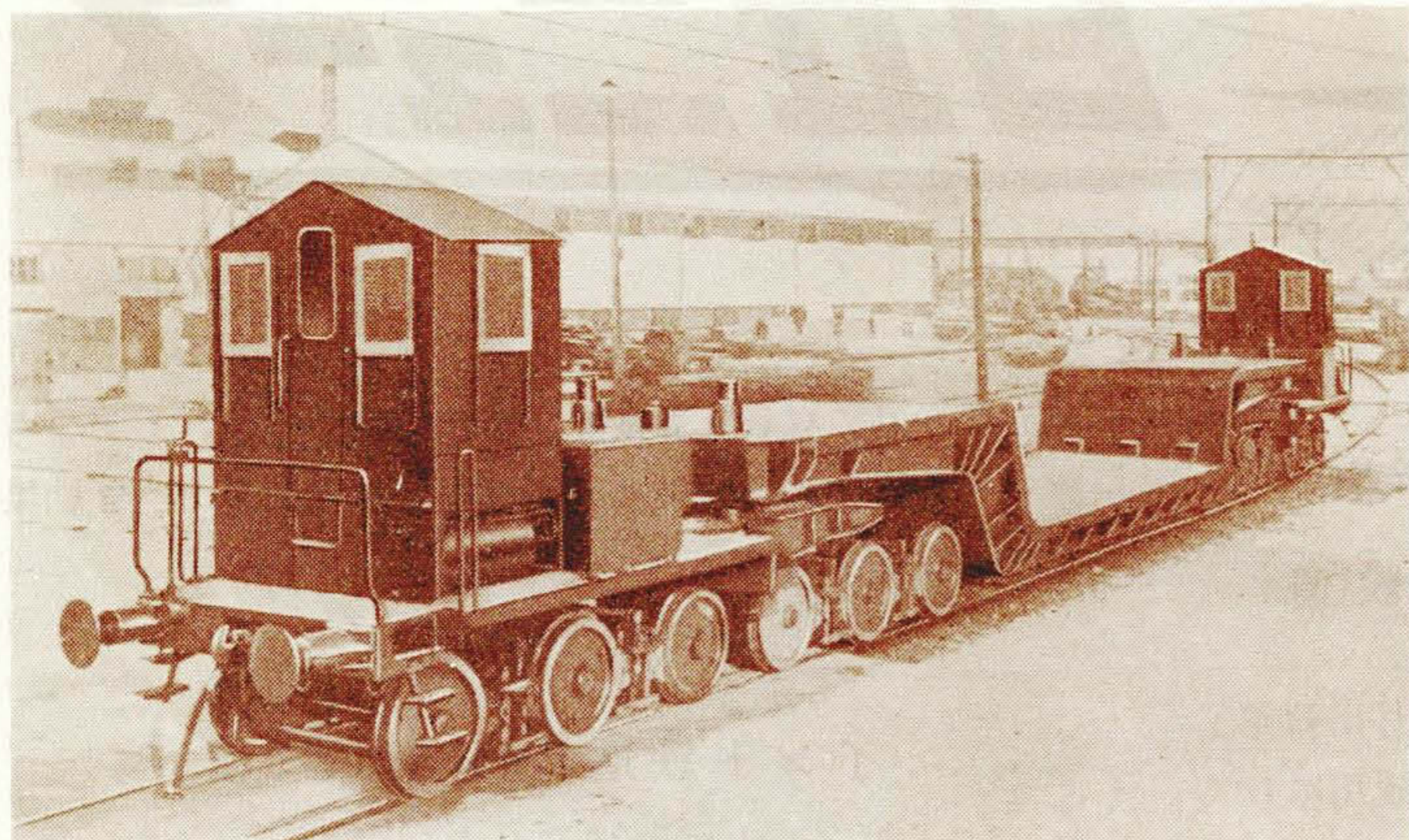
この貨車は容積の大きい貨物の運搬用として設計せられた低床式大物車で、その特長は、油圧ジャッキをもつており、これによつて標準状態から上へ 6 in、下へ 7 in 上下させることが可能で、建築限界の低い橋梁やトンネルを通るとき、車体を下げて通過を容易ならしめたり、貨物の積卸しを容易にする構造としてある。

車体は 2 個の中間台枠上に 4 本の支柱によつて支えられ、必要によつて車体と中間台枠は 90 度向きを変えられる構造となつており、さらに荷重の大小に応じて 3 段階にブレーキ力を調整できる真空ブレーキシリンダを備えた車掌室が中間台枠の両端に設けてある。

この車輛はすべて溶接構造であつて、インド規格による材料を使用してある。



第1図 富士製鉄株式会社釜石製鉄所納逆転式二重粗圧延機用電気設備の工場組合せ試験



第2図 インド鉄道 BWS 型 130 t 積低床式大物車

主要要目

軌間.....	5'—6" (1,676mm)
荷重.....	130 t
自重.....	90 t
主要寸法	
最大長.....	90'—5" (27,557mm)
最大幅.....	9'—11 ¹¹ / ₁₆ " (3,040mm)
最大高.....	13'—4 ¹ / ₁₆ " (4,065mm)
中心ピン間距離.....	56'—7" (17,247mm)
台車心皿間距離.....	7'—4" (4,370mm)
車輪径.....	3'—0" (914 mm)

名古屋市交通局納

地下鉄電車第1号車完成

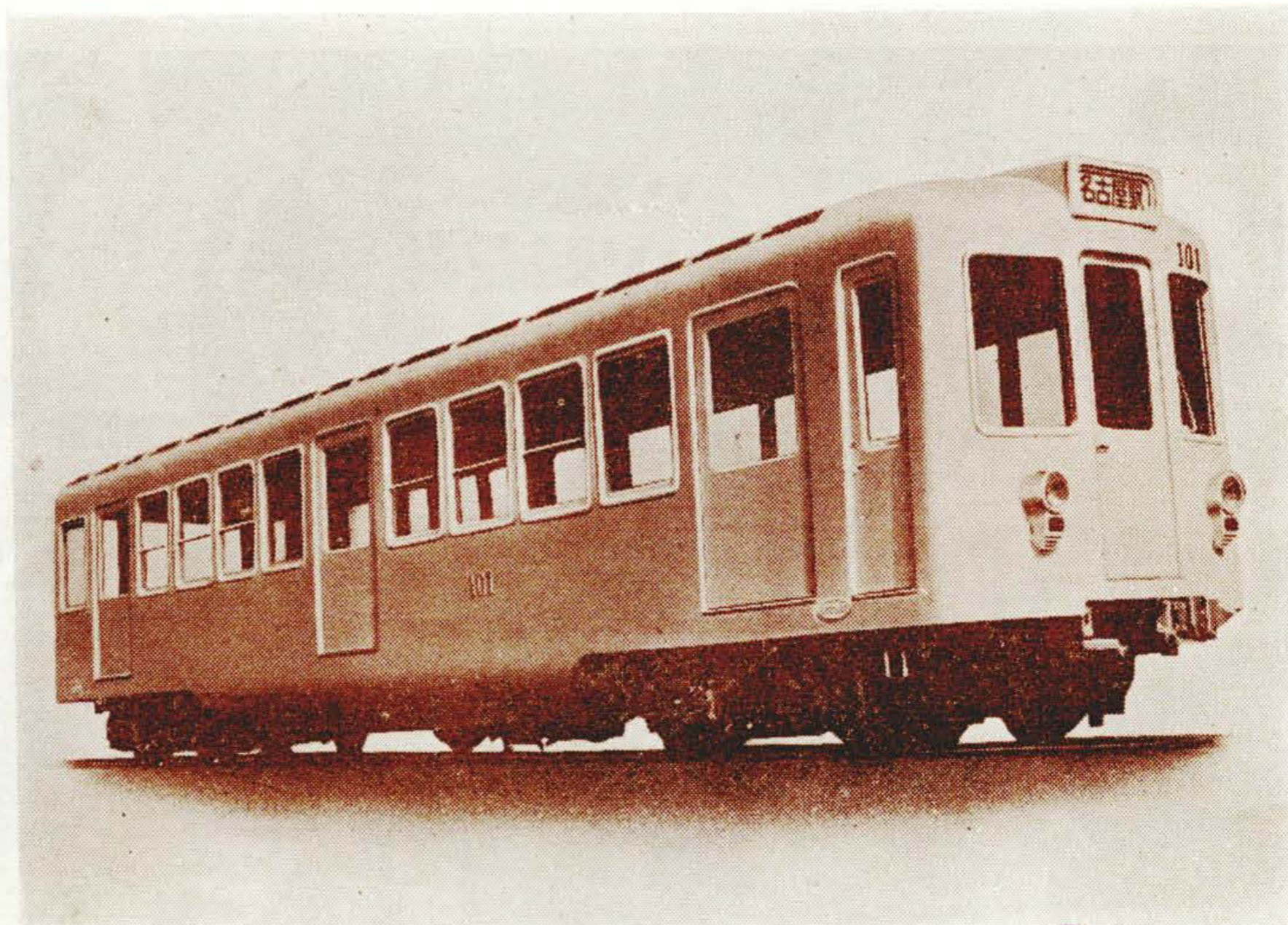
名古屋市高速度鉄道計画に基く地下鉄道の実現に伴い、その第一次分として日立製作所に発注された車輛は現在もつとも新しいタイプの地下鉄電車として、このほどその第1号車が完成、納入された。この新形式地下鉄電車の誕生までには、運輸省民営鉄道部、同省技術研究所、名古屋陸運局鉄道部および名古屋市交通局、ならびに日立製作所、日本車輛および三菱電機の七者で数次の設計協議会をもち、種々検討の結果、名古屋市高速度鉄道建設にもつともふさわしい車輛とするため次の三点を設計方針として決定し、その設計ならびに製作を日立製作所に一任せられたものである。

- (1) 高加速、高減速の制御方式により高速運転ができる。
- (2) 防振、防音に留意し、快適な乗心地が楽しめる。
- (3) 地下隧道内運転のため耐火は勿論、各部の安全が計られている。

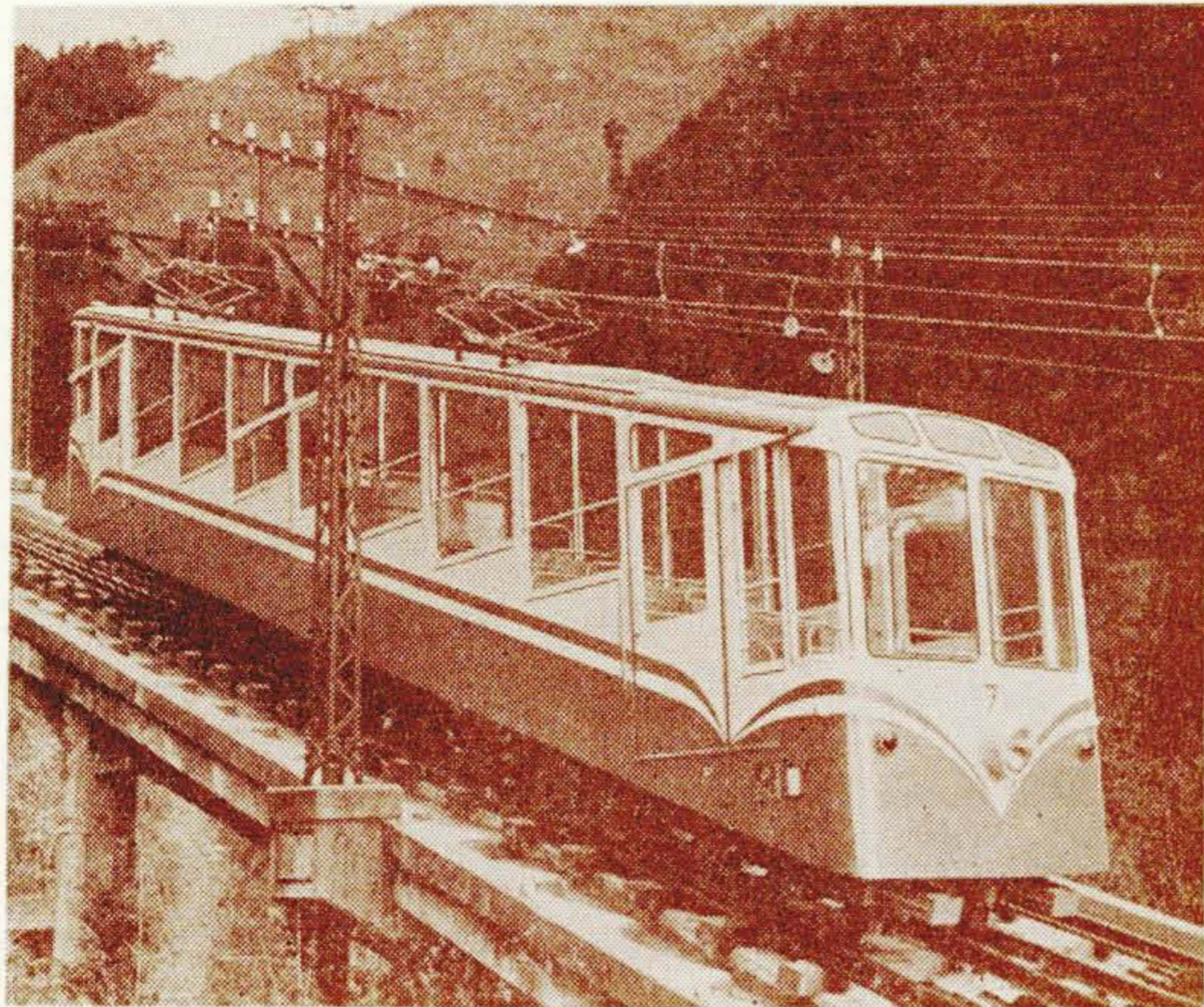
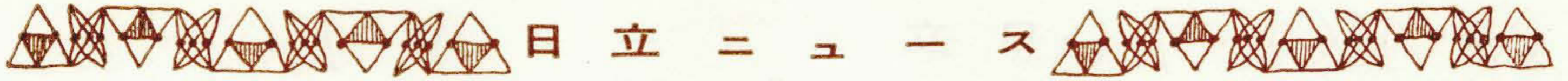
この車輛の製作に当つては日立製作所としては総合メーカーの実力を十分駆使し、世界的にもつとも斬新な車輛とするための各種の構想をおり込み、実際設計にあつては1/2サイズの模型鋼体を作成して、各種の強度的な実験を実施して設計計画についての問題点を調査し、電気品においては電動機容量、加速度、減速度などの諸計算は勿論のこと、各機器の性能を小型軽量、保守点検の簡便化等々すべての面で慎重な検討の結果、製作に着手したもので、今後の名古屋市百年の大計にもとづく高速度鉄道運転に適した最良の車輛を製作したわけである。

主要要目

型式.....	全金属製ボデーマウント式二軸ボギー電動車
車体寸法.....	長×幅×高 15,580×2,550×3,360 mm
定員.....	100人
自重.....	21.4 t
軌間.....	1,435 mm
電気方式.....	DC 600 V 第3軌条式
台車型式.....	KH-10型カルダン台車 (762φ 弾性車輪採用)
主電動機.....	HS-503-Frb 40 kW×4台 (H種絶縁)
電動発電機.....	HG-732-Crb 1.7 kVA 1 kW 交直両用電動発電機
制御装置.....	MMC LBM-4 多段式電動機操作カム軸式制御装置
集電装置.....	SC L-40-1 第3軌条集電装置
照明装置交流蛍光灯	客室..... 40 W×20灯
	運転室..... 20 W×1灯
	方向幕灯..... 20 W×1灯



第3図 名古屋地下鉄電車外観



第4図 信貴山ケーブルカー

近鉄信貴山ケーブルカー再開

大阪の信貴山ケーブルカーは昭和5年の開通以来、府民に親しまれていたが、昭和19年に戦争の影響をうけて撤去されて今日に至った。

今回新しい新たに再開され、大阪の上本町—信貴山口間の近鉄の誇る最新鋭電車と、山上の直営バスとの連絡によつて、大阪からわずか40分あまりで山頂の朝護孫寺の山門に着くことができるようになった。

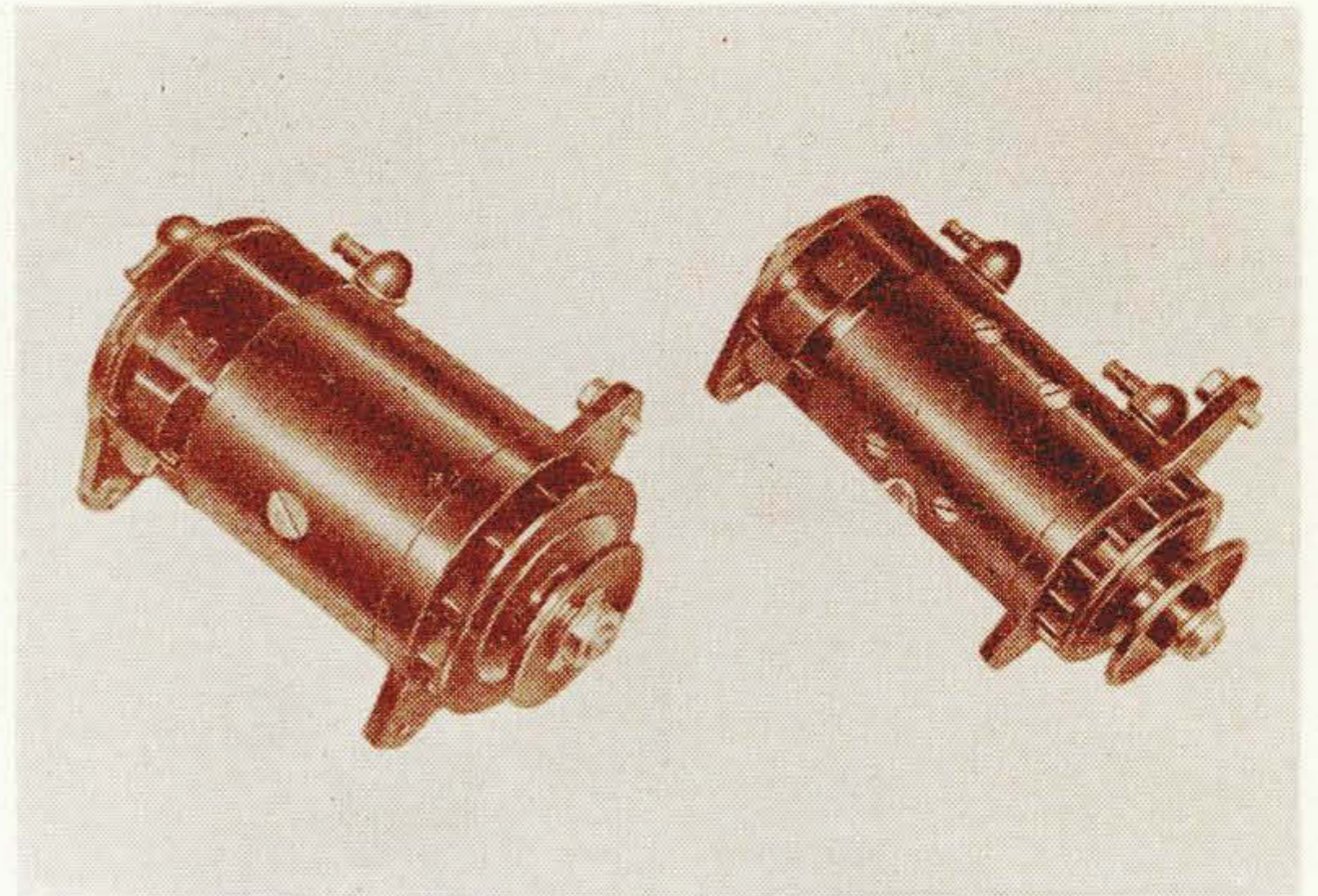
このケーブルカーは車体、台車を日立製作所笠戸工場で、また巻上機設備を亀有工場で製作したもので、概略仕様はつぎの通りである。

軌間.....	1,067mm
自重.....	12t
最大乗車人員.....	171人
車体傾斜.....	18°
運転速度.....	3.25m/s
線路長.....	1,320m
線路勾配 (最急).....	480‰
(最緩).....	170‰
制動装置 型式.....	テオドルベル式
種類.....	自動, 足踏, 手動, 過速
巻上機 電動機.....	300HP 三相誘導電動機
減速歯車 1段目...ダブルヘリカルギヤー	
2段目.....	スパーギヤー

小型軽量化の第一歩

三輪車用標準充電発電機完成 第三刷子式 7V, 140W

国内自動車工業の発展にともない、三輪車、小型四輪車は国際水準を目標として、その性能向上とともに価格の引下げをはかり国内はもとより、輸出産業としても一



第5図 ICA-DSR 型三輪車用充電発電機
左: 7V 140W GCA-DSR 型 (従来型) ダイナモ
右: 7V 140W ICA-DSR 型 (標準型) ダイナモ

大飛躍をめざして努力をつづけている。この目標を達成するためその電装品も製品の規格統一、機種の一化、小型軽量によつてコストの引下げや互換性の拡大をねらい、増産と相まつて国産車の地位を高めてきた。

今回日立製作所においても規格統一を目標として下記仕様の標準型三輪車用小型充電発電機を完成した。この小型充電発電機は構造が簡単な第三刷子式による電圧調整方式のもので、製品重量は従来品が 8.3 kg であるのに対してこれでは 6 kg と約 30% 軽量小型化されている。

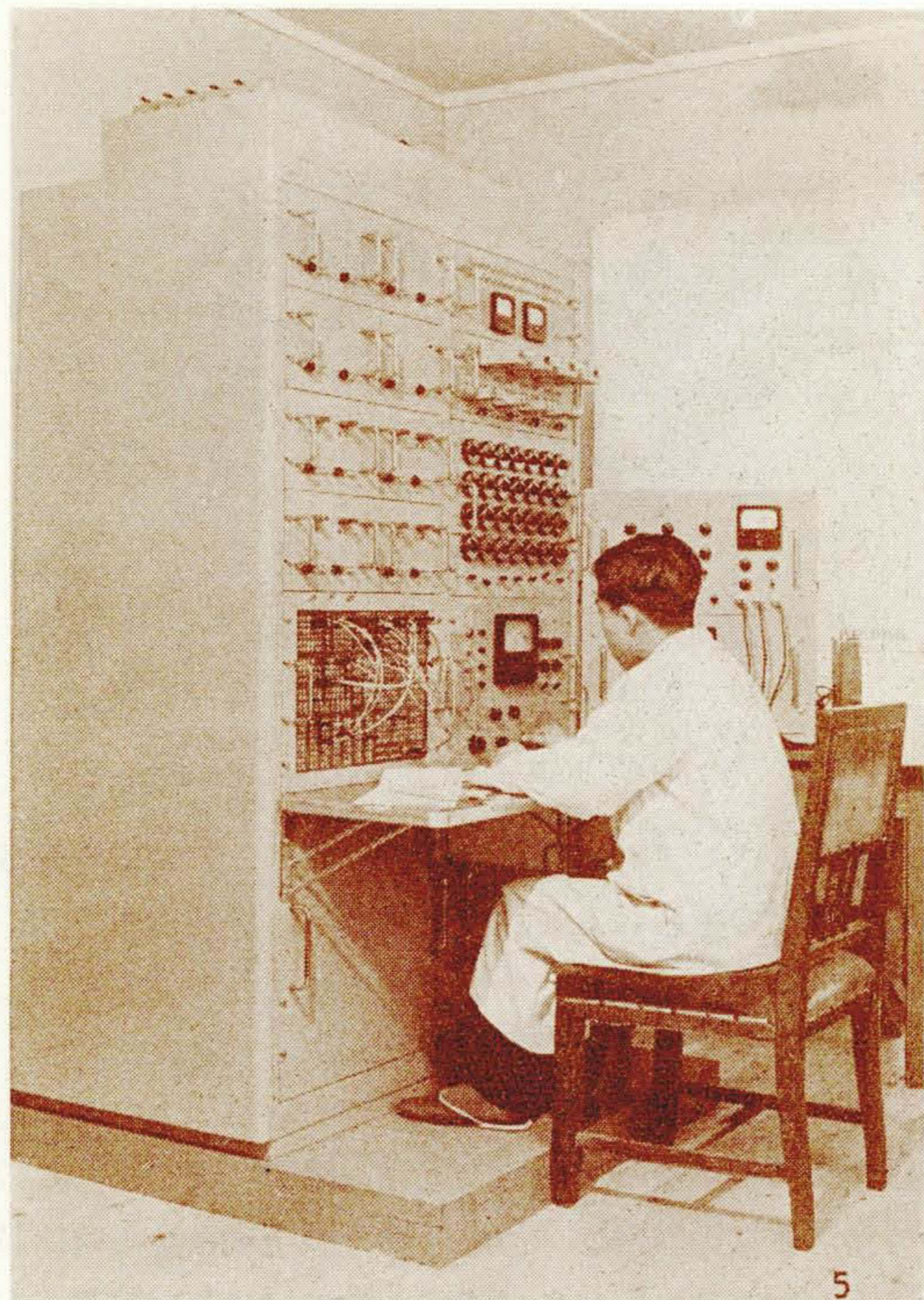
この小型充電発電機はすでにメーカーに納入されて、小型軽量高性能のものとして好評を得ており、定電圧方式のものも近く発表する予定である。

主な仕様

	標準型	従来型
型式	ICA-DSR	GCA-DSR
ヨーク外径	90φ	113φ
製品重量	6.0 kg	8.3 kg
取付方式	フランジタイプ	フランジタイプ
フランジピッチ	155.5 mm	155.5 mm
フランジ取上	75 R	75 R
フランジ取下	58 R	78 R
ブーリセンタとフロントフランジ間	36 mm	36 mm
出力	7V, 140W二重定格	7V, 140W
全長	242 mm	241 mm

日立低速度型アナログ計算機

日立製作所中央研究所ではかねてより電子管式アナログ計算機の試作研究を行つてきたが、今回工場と共同で低速度型アナログ計算機の製品化を完成、運輸技術研究所に納入した。



第6図 日立低速度型アナログ計算機

今回作られたものは高精度を有する実用機で外観は写真で見るとくこじんまりと纏っている。

本機は積分器 8 台、係数器 6 台、加算機 6 台を有し 8 階線型微分方程式を解く機能を持っている。

この種計算機の精度測定によく使われるサークルテストの結果、演算周波数 1 rad/s、演算時間 30 秒において演算精度 0.5% 以内という優秀なる性能を示し、大変好評を博した。

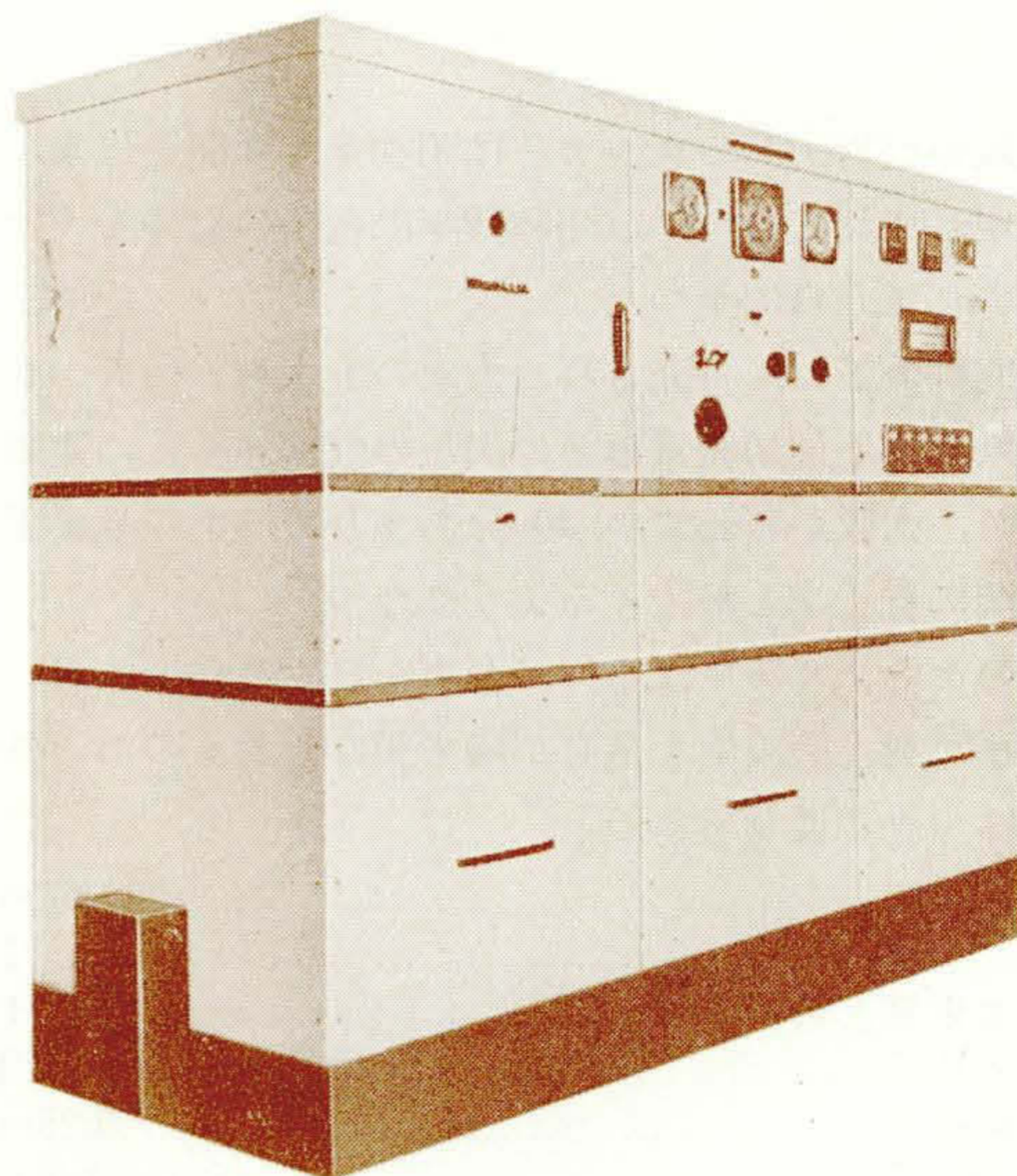
本機は現在頻繁に使用されているが、航空機の機体に関する複雑な計算でかなりの人が 3 箇月要してやつとだした結果と、よく一致する答をただちに示し、その精度

の信頼度をますます高めると同時に、安心して使える装置として納入後日が浅いにもかかわらず各方面に活用されている。

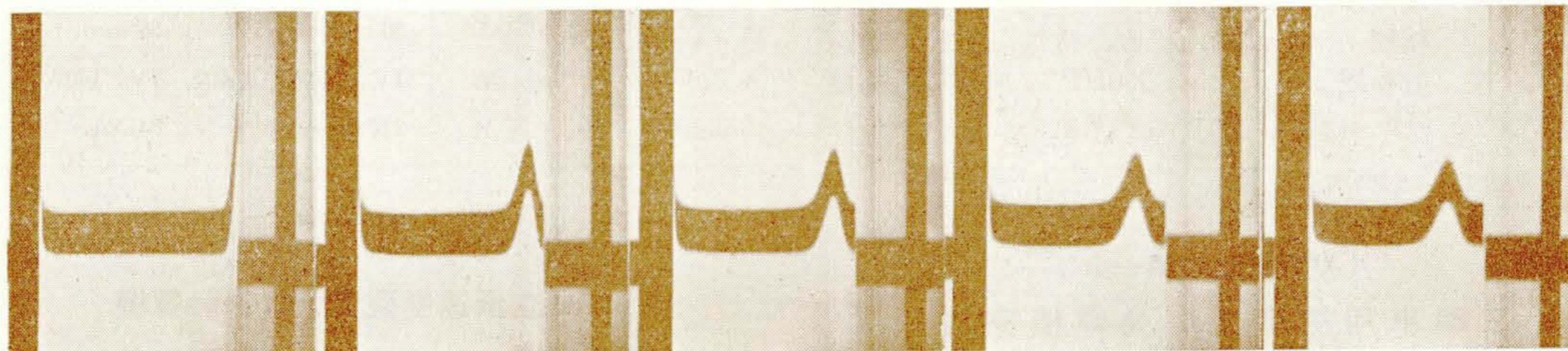
UCA-1 型分析用日立超遠心機完成

遠心力を利用して物質の沈降速度や分子量を測定するための分析用超遠心機は米国、ドイツにおいてはすでに完成しているが日本では今回日立において始めて完成し第 1 号機が日本大学医学部に納入された。

本機は最低 6,020rpm より最高 60,000rpm 迄の間 30 段階において一定速度で回転し、60,000rpm においては遠心力は約 250,000g という強力なものとなり、医学生物学の各種蛋白、ウイルスの研究、各種高分子の特性の調査、分子量によるコロイドの分類など今後この方面の応用開発に大きい貢献をするものと期待できる。



第7図 UCA-1 型分析用日立超遠心機



露出時間	露出時間	露出時間	露出時間	露出時間
40分	20分	30分	40分	50分
5秒	5秒	5秒	5秒	5秒

第8図 卵のアルブミンのパターンの変化

基準温度: 14.5°C 室温: 15.8°C 回転数: 60,000rpm
 ロータ温度: 実験前 +1.5°C, 実験後 +2.6°C ダイアゴナルバー角度: 70°
 試料: 卵のアルブミンの 0.2Mol 食塩水 1% 溶液 (重量比)



第8図はその測定の例で時間の経過とパターンの移動した距離を撮影によつて測定し計算によつて沈降速度を求めることができる。

本機の主なる性能仕様は下記の通りである。

- (1) 駆動方式 直巻電動機 (1.5 HP) による回転を歯車増速方式によつてロータを駆動する。
- (2) ロータ (分析用) セルの回転半径 65mm ロータの外径 178mmφ
- (3) 光学系 ダイアゴナルスリットを使用するシュリーレン法 (チゼリユース装置と同じ)
- (4) 真空系 回転油ポンプ, 油拡散ポンプと直列2段排気方式 真空度 10^{-4} mmHg
- (6) 試料の冷却方式 $\frac{1}{4}$ HP 空冷式フロン冷凍機によりロータを冷却する。
- (7) 回転数自動制御機構 電子管による速度制御回路, 低速度ブレーキ遮断回路, 過速度制御回路
- (8) 巾×高さ×奥行 2.09m×1.7m×0.75m
- (9) 重量 約 1t

1957年型日立扇風機

美しいスタイルとすぐれた性能で毎年好評の日立扇風機は生産設備の充実, さらに本年新型4種を加え, 色彩面で「ツートンカラー」, 性能の点で「高起動トルクのコンデンサモートル方式」を採用し, 増産化を計った。以下各機種につき簡単にその特長を紹介する。

20cm 卓上扇 グッピー (真珠色)

明るい真珠色の羽根, 真紅なガードマークがいかにも可憐な感じを与える小型卓上扇である。俯仰調整ネジで上下に風向角度を簡単に調整できる。

25cm 卓上扇 フォルテ (真珠色, 若竹色)

豊かな風量をより快よく与えるために工夫をこらした

羽根, *f*を形どつたガード, スマートなベースなど, 愛称「フォルテ」にふさわしい感じを与え, 首振装置もさらに改良されている。

30cm 標準扇 涼風 C (水色, 若草色)

家庭でも安心して御使用頂けるようにガードを細目とし, すでに定評のあるその性能と, 手軽に買える価格などは家庭用標準型扇風機の決定版である。

30cm 高級扇 ジルコン C, エリナイト C, スピーネル C (水色, 若葉色, 白樺色)

昨年もつとも人気のあつた細目高級扇であるが, 今年もさらにガード, ベースなどを改良し, より親しみのあるものとした。家庭用, 業務用いずれにも向く高級扇である。

30cm 高級扇 ビコロ (青色, 緑色, 黒色)

昨年度の粗目高級扇に「ツートンカラー」を採用したものである。さらにコンデンサモートルを使用し速度調整範囲を広くしている。

30cm 高級扇 ビコロ・デラックス (青色, 緑色)

従来のプラスチック羽根にアクリルを利用して透明羽根とした。清涼味あふれる新しい感覚のものである。ビコロと同じコンデンサモートルを使用している。

30cm 高級扇 ゼフィール (水色, 白樺色, 若葉色)

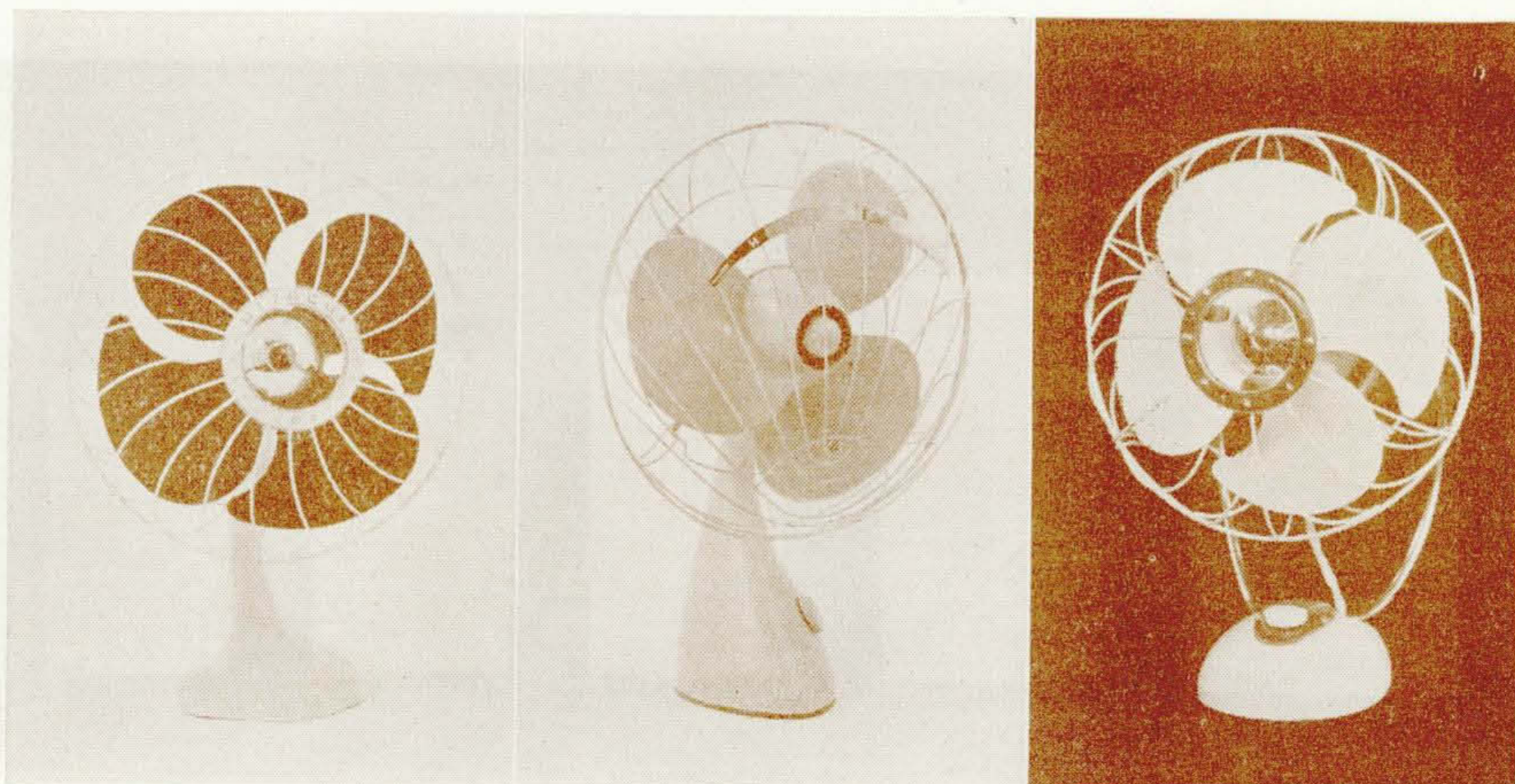
特殊な羽根曲線と中央部のジェット作用の応用により風量が多い上に風が遠くまで届くよう考案されたもつとも理想的な扇風機である。

新しいガードの流れと中央にはめ込んだ宝石など, 扇風機のデザインの新しい傾向を示したものである。

効率のよいコンデンサモートルを使用している

30cm 超高級扇 瞳 (黒色)

毎年各地の扇風機人気投票においてトップを獲得して

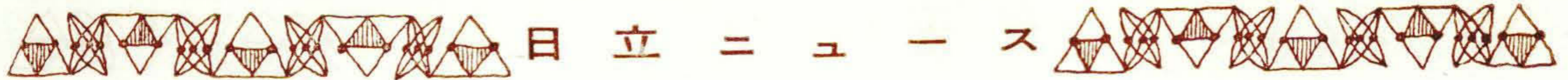


30cm 高級扇ビコロ

30cm 高級扇ゼフィール

30cm 超高級扇プラネット

第9図 日立扇風機



いる「扇風機の王様」である。

30cm 超高級扇 プラネット（白樺色）

『思いのままに首振り方向を変えられたら』という望みを叶えてくれる扇風機としてその真価を一般に問うものである。ツマミを操作することにより左右、上下、斜めのいずれにも首振りのできるものである。性能のよいコンデンサモートルを使用、早くも今年の寵児として各方面より注目されている。

40cm 卓上扇 吹雪（真珠色）

業務用として好適な大型卓上扇である。

40cm オート扇（水色）

従来の細羽根を広羽根に変え、ギヤーボックスの改良を計り取付運転を容易にした。壁掛速度調整器がついているのでスピードも自由に調節できる。

40cm スタンドファン（真珠色）

デパート、ホテルなどの休憩室、食堂などに最適、振動を除き、移動容易にできる自在車を付けてある。

60cm スタンドファン（水色）

わが国最大の大型扇であり、ロビー、ホールなど広い部屋に向く豪華なスタンドファンである。

そのほかに 90cm ならびに 130cm 天井扇スターライトがあり、また 30cm ならびに 40cm の換気扇はモートルを小型化しフレームを変更することにより構造の強化と取付の簡易化を計り、非常にスマートなものとなった。

新型日立電気冷蔵庫

長期間の使用を考えて氷冷蔵庫の氷代にも見合う低価な価格で電気冷蔵庫が一般家庭に普及するよう、価格の低減と流れ作業方式による量産に鋭意研究を重ねてきた日立は、本年はさらに外観、内容とも一新したデザインを採用し、手軽るに買える 2.2 立方呎より、業務用の 8

立方呎まで 5 種類の大きさの冷蔵庫を取り揃えた。

それぞれの機種についての主な特長はつぎの通り。

KA-22 型（内容積 2.2 立方呎）

大衆化をはかるための最廉価な普及品で、ほかの機種とまったくかわらないスマートな外観である。ハンドルの先端は優美な平丸型にし把り易く、また冷却器には中棚がついており冷却器内部をもつとも有効に利用できる。

また扉内板は耐温湿度性および強度にもつともすぐれた性質をもつ硬質塩化ビニールを使用し、真空成形加工により凹をつけ冷蔵庫全体を一層優美なものにしてある。

KA-30 型（内容積 3 立方呎）

日本で一番よく売れた日立の電気冷蔵庫というのがこの型である。

本年はさらにハンドル、扉内板などに行届いた改良を加え冷却器には多量の食品が貯蔵できるよう中棚をつけ、一段と使い易く工夫された実用的な冷蔵庫である。

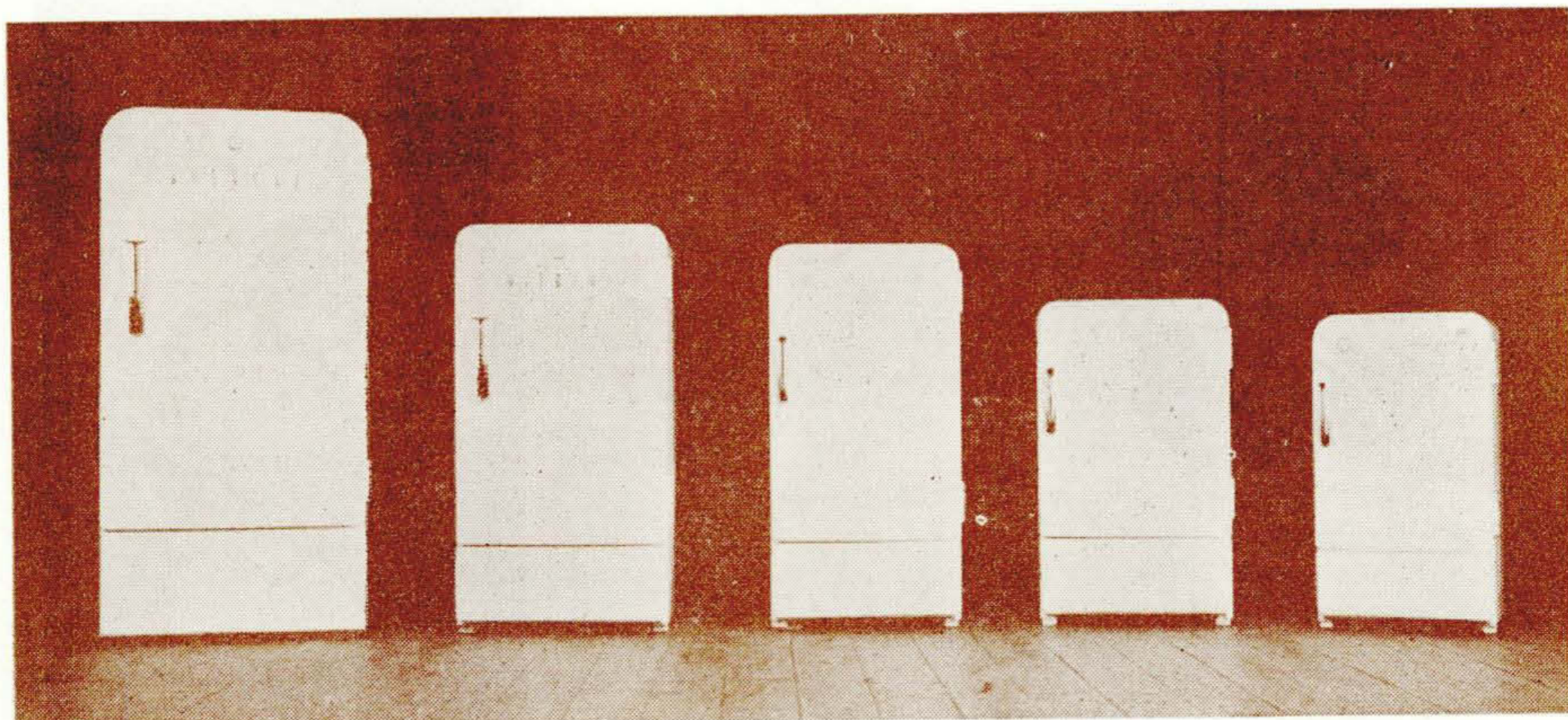
KA-40 型（内容積 3.9 立方呎）

多人数の家庭にも十分な容積を持つ理想的なサイズで、冷却器は中棚付 U 字型冷却器と同様な性能を持つ効果的な 6 字型を採用して多量の氷が急速に作れるようになっている。

また庫内には自動的に点滅する庫内ランプをつけ夜間でも貯蔵品の出し入れが容易にできる設計の徳用品である。

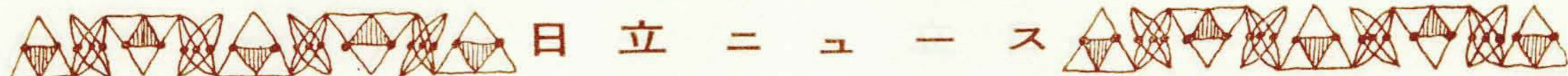
KB-55 型（内容積 5.5 立方呎）

扉は鳩胸型の画期的なデザインを施し扉の内側には壘類や卵などが置ける便利な 2 段のポケットをつけ内容積をもつとも有効に利用できるように設計してある。ハンドルは堅牢で優美な T 字型 2 段モーション式鍵付ハンドルを採用し、用途によつては関係者以外のものには勝手



向つて左より KC-80 型、KB-55 型、KA-40 型、KA-30 型 および KA-22 型

第 10 図 日立電気冷蔵庫



に開閉できぬようになっている。

また自動的に点滅する庫内ランプ，冷却器には扉をつけ，金色の縁付柵網を使用するなど充実した内容の家庭用最高級品である。

KC-80 型（内容積 8 立方呎）

技術の粋を集めて製作された最高級電気冷蔵庫であり，特に業務用にも使用できるよう設計されてある。

冷却器は庫内上部に平らに取りつけ多量の冷凍食品の冷却や氷が急速に作れるよう全幅型を採用し，冷凍能力を一層大きくしてある。（冷却面積は従来の 2 倍）

また露受皿の後部位置にはダンパ（遮断装置）を設け庫内冷却温度の調節も可能にすると同時に，露が庫内に滴下せぬよう露受皿の後部に重なるように取りつけてある。そのほか鍵のかかるハンドル引出し式野菜容器，壘類，卵などが多量に置ける 3 段のドアポケットなど要望のすべてを満した豪華品である。

日立アイスクリームストッカー

アイスクリームの需要は年々増加の一途をたどり小規模な小売店の店頭にまで機械化されたアイスクリームの貯蔵庫が見受けられるようになってきた。日立アイスクリームストッカーは僅少な維持費とすぐれた性能によりおいしいアイスクリームをいつでも用意する容器とし，すでに有名なアイスクリームメーカーや販売店において非常な好評を博し使用されているが，本年はさらに一段と改良進歩をした新型アイスクリームストッカーを発売した。

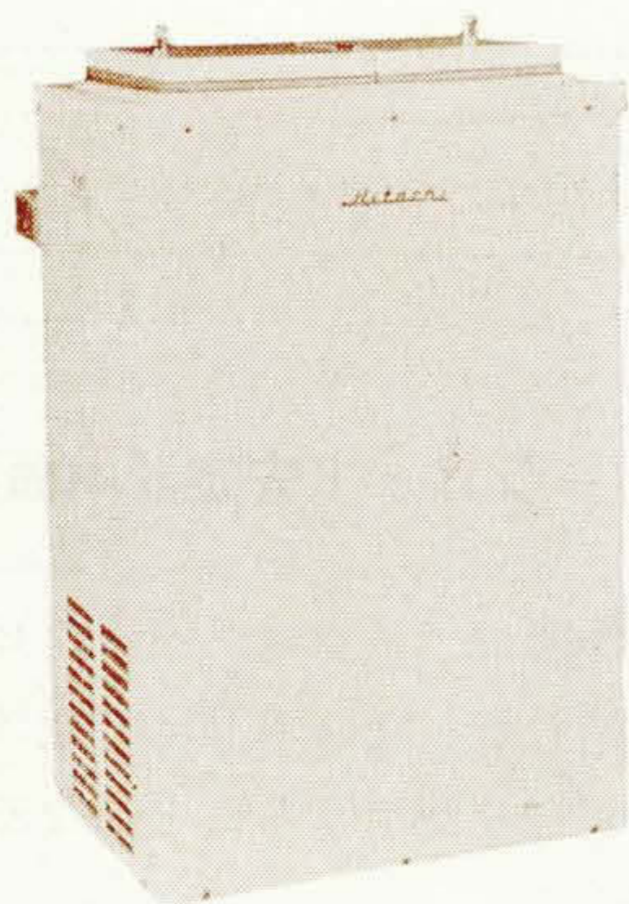
主な特長は，

(1) 外観が優美である。

美しい光沢のある白色メラミン塗装に洗練された外観はどんな場所にもよく調和する。

(2) 取扱いが簡単である。

電源へコードを接続するだけですべて自動的に運転す



第 11 図 日立アイスクリームストッカー

る。

(3) 内容積が大きい。

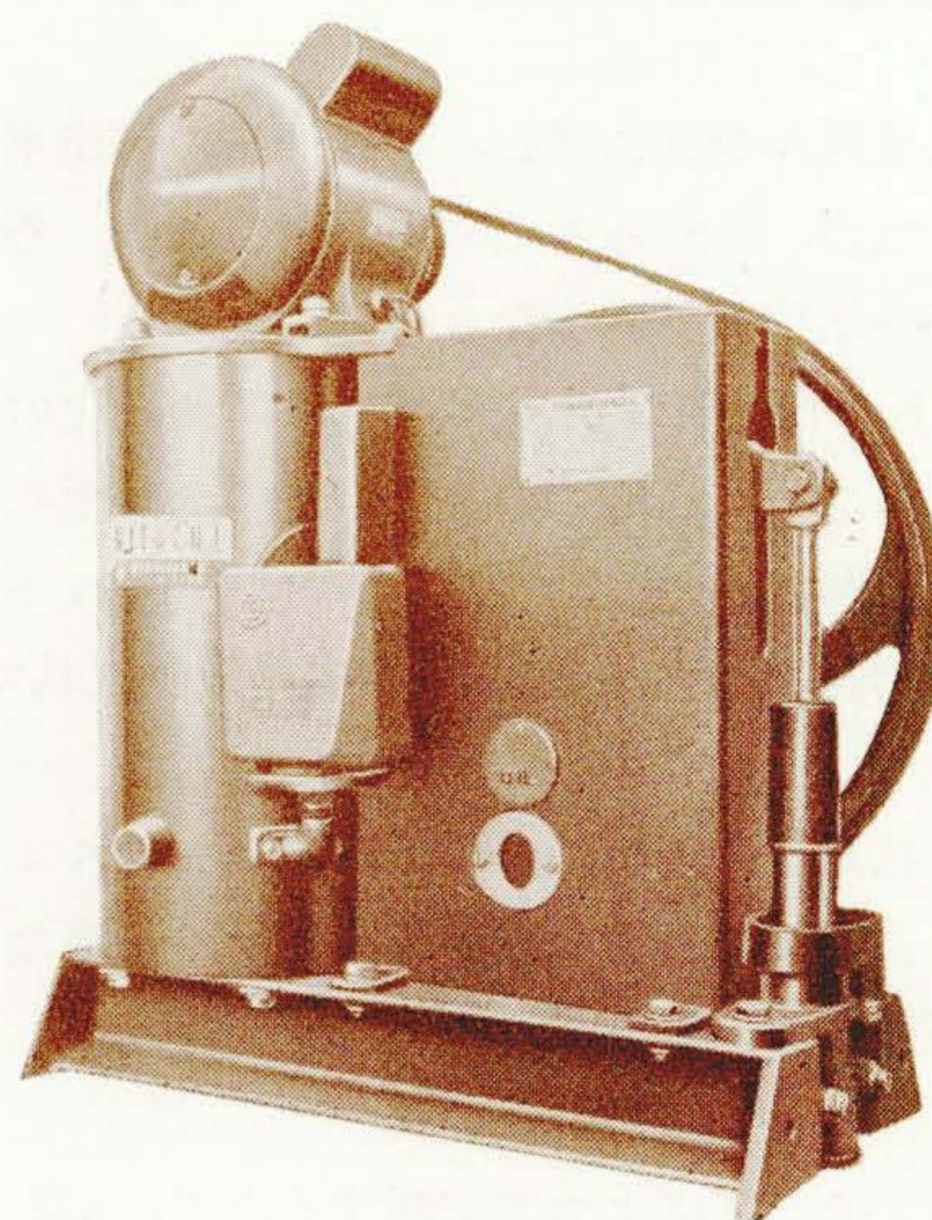
外観は小型でも無駄を省いて内容積を大きくしてある。

(4) 経済的な維持費。

精密な温度調節器によつて確実に所定の温度範囲に保ち自動的に運転，停止をするので消費電力は僅かですむ。

(5) 匙入が付いている。

附属品の匙入れはストッカーの設置場所に応じて左右どちらの側面にも簡単に取付けられる。



第 12 図 普及型深井戸ポンプ

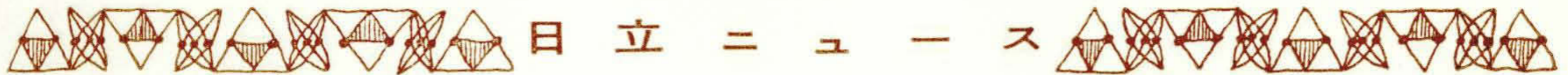
普及型深井戸ポンプ完成

家庭用電気井戸ポンプの需要は，ますます増加しつつある。この方面でもつとも名を知られている日立製作所は，すでに深井戸ならびに浅井戸各種の電気井戸ポンプを発売し好評を博しているが，今回深井戸ポンプ普及型として画期的な性能をもつた 5FP-C 型を完成，発売した。

主なる特長と仕様はつぎの通りである。

特 長

- (1) 価格が低廉
- (2) 小型軽量でしかも堅牢
- (3) 60 尺 (18m) の井戸に使用できる
- (4) すばらしい送水能力でしかもモートル出力 200 W
- (5) 圧力タンクの空気補給はきわめて簡単
- (6) 世界の水準を抜く日立モートルを使用している
- (7) 分解組立が著しく簡単
- (8) バランスシリンダからの水洩れがない
- (9) 完全な防錆処理を施してある
- (10) 安全弁は全砲金で冬期防寒にも利用できる
- (11) すぐれた材質が選定してある



仕 様

モートル.....	单相コンデンサ起動 200W
電 源.....	100V 50～または 60～
吸揚高さ.....	18m
押揚高さ.....	8m
全 揚 程.....	26m
揚 水 量.....	750 l/h
圧力自動開閉器.....	1.0kg/cm ² (閉)～2.0kg/cm ² (開)
揚 水 管 (吸揚部).....	1 1/4"
" (押揚部).....	1 1/4"
送 水 管.....	3/4"
製品重量.....	55kg

日立 HUK-ON 型 1.2mm ニブラ

最近の工業界の発展に伴い、切断作業の高能率化が要望されていたが、これらのための高級工具は、外国製品に依存している状態であった。

日立 HUK-ON 型 1.2mm ニブラは、国産化の要望にこたえて作られた、高能率の金属板のほか板物切断専用工具で、小型軽量で片手で容易に操作ができ、下記のような種々の特長を持つ、応用範囲の広い電動工具である。

用 途

鋼板、真鍮板、銅板、アルミ板、ジュラルミン板、ブリキなどの金属板や合成樹脂、ファイバ板などの切断および窓抜き作業

特 長

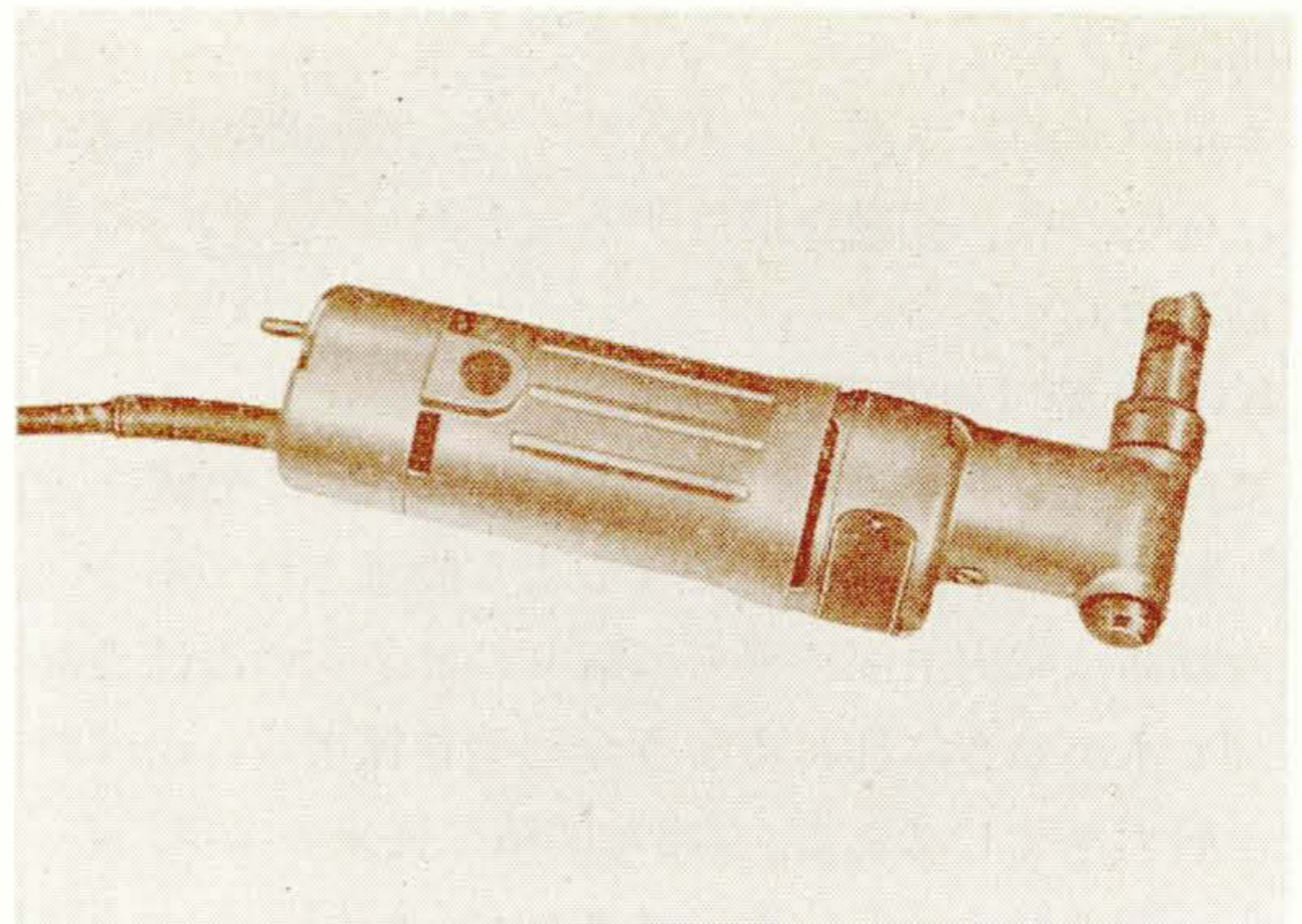
- (1) ポンチングによつて切断するので、切られた板が歪まないから、板の両方を生かして使える。
- (2) 板の中央に 20mm の孔を明けておき、これを起点として任意の形に窓抜きができる。
- (3) 片手で直線、曲線いずれも自由に切断できる。
- (4) ダイスの交換も簡単で、また研ぎ直しもできるなど新工夫がなされている。

仕 様

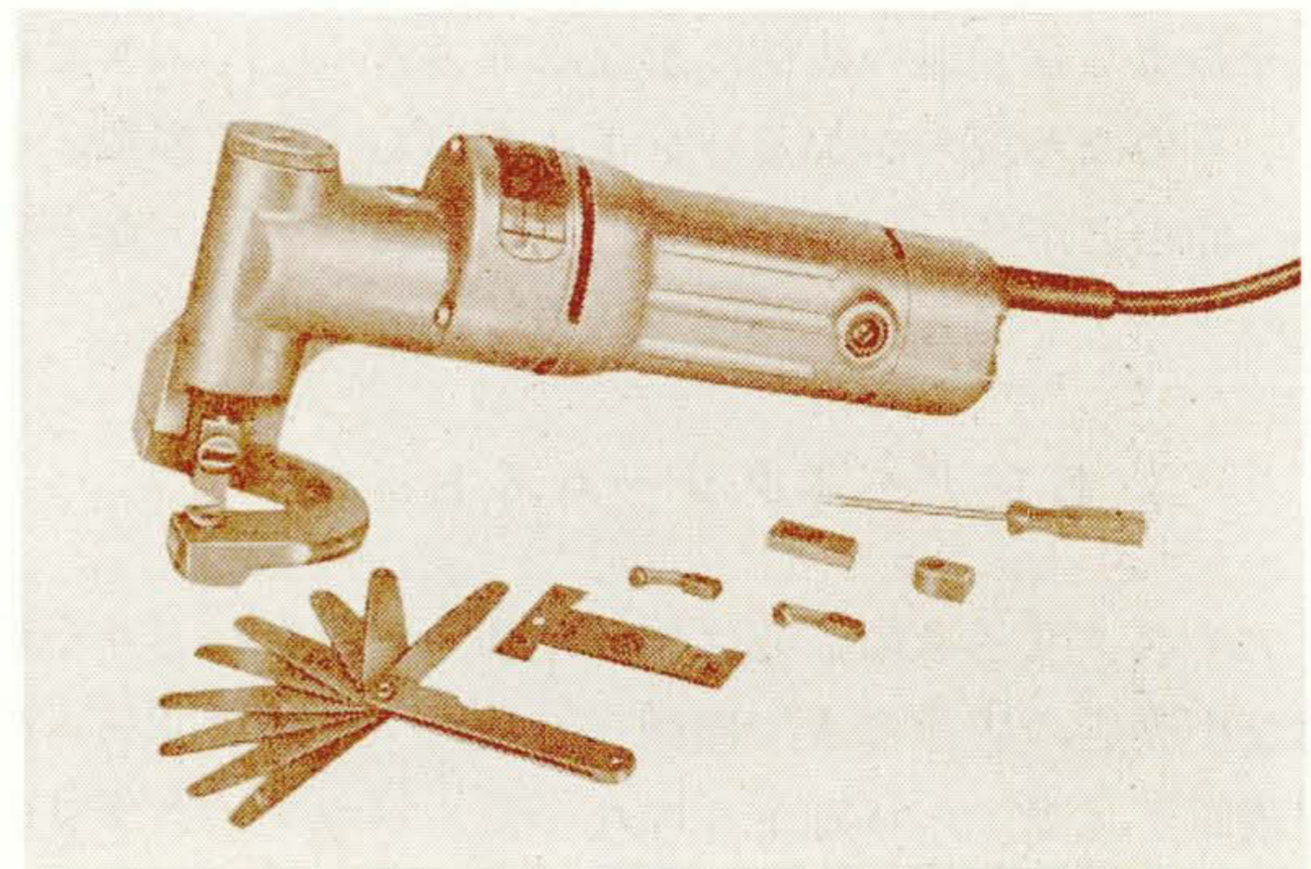
切断容量.....	鋼板 1.2mm
電 源.....	単相交流直流両用
電 圧.....	100—110V
全負荷電流.....	2.0A
無負荷ストローク数.....	1,800/min
切断速度.....	1.4m/min
最小切断半径.....	25mm
重 量.....	2.5kg

日立 HUC-ON 型 1.6mm 電気ハンドシヤ

さきに発表して好評を得ている LUC-RN型電気ハンドシヤ(鋼板2mm用)の姉妹品で、工場ばかりでなくブリキ屋、中小板金工場などでも容易に使用できるよう、小型普及化を計つたものである。片手で操作でき、次記のような特長を持つ高性能を誇る電動工具である。



第13図 日立 HUK-ON 型 1.2m ニブラ



第14図 日立 HUC-ON 型 1.6mm 電気ハンドシヤ

用 途

鋼板、銅板、アルミ板、ジュラルミン板、真鍮板、ブリキなどの金属板や皮革、ファイバ板などの切断

特 長

- (1) 小型軽量で、モートルは強力である。
- (2) 切刃の着脱、調節などは簡単で確実である。
- (3) 直線、曲線いずれも自由に切断できる。
- (4) 切断速度が早く、作業能率が良い。

仕 様

切断容量.....	鋼板 1.6mm
電 源.....	単相交流直流両用
電 圧.....	100—110V
全負荷電流.....	2.0A
無負荷ストローク数.....	1,800/min
切断速度.....	3m/min
最小切断半径.....	25mm
重 量.....	2.8kg

日立スーパーラピッド安定器単独販売開始

この程日立製作所で「日立スーパーラピッド安定器」の単独販売を開始した。なお本品は日立スーパーラピッド蛍光ランプと組合せ使用することになるのでこれをキットとして発売する。

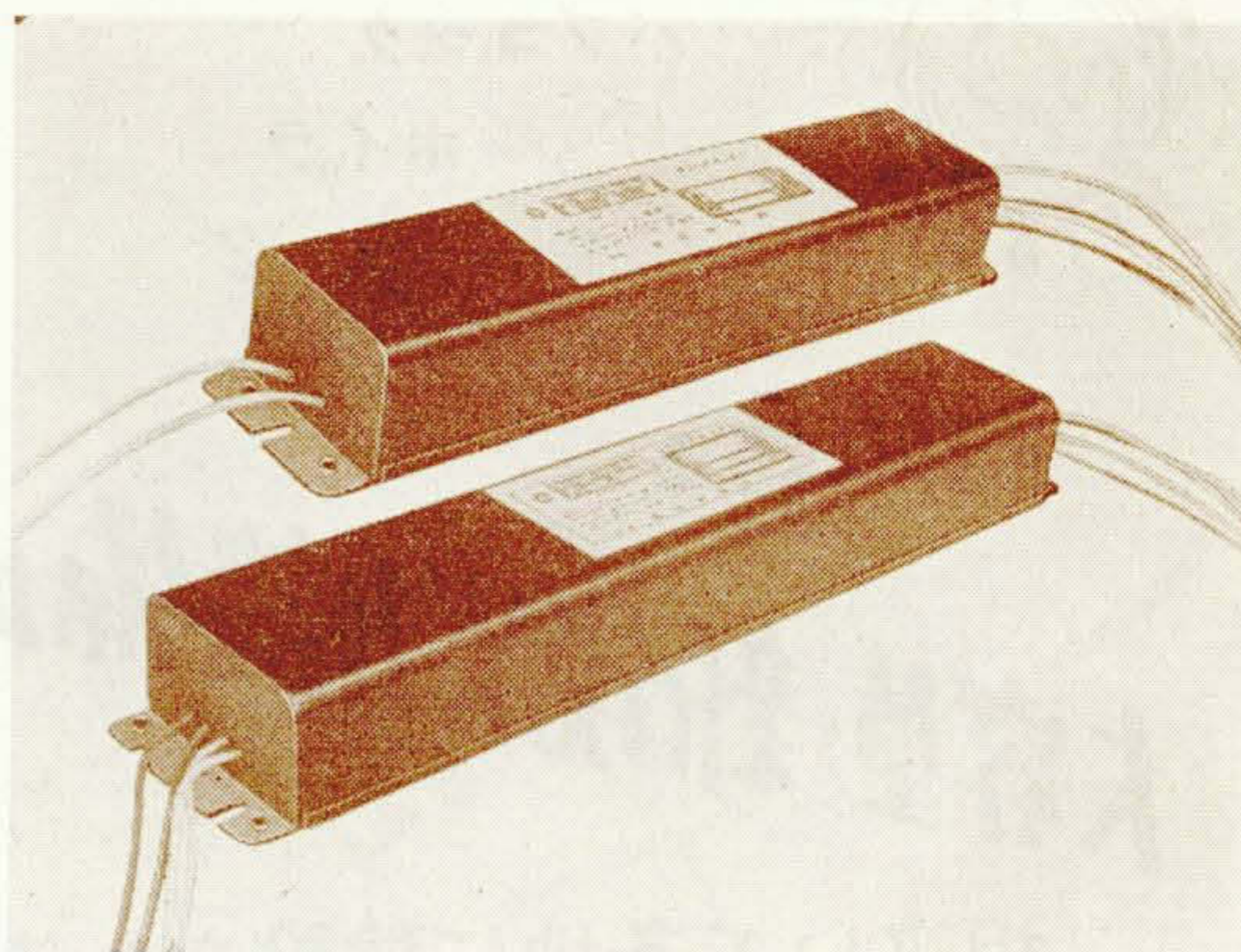
同社が始めて完成した優秀な特性をもつスーパーラピ

日立 ニュース

ッド蛍光灯と、本安定器とを組合せれば後記のような多くの長所を発揮し、ラピッドスタート式蛍光灯の決定版とも称せられている。本蛍光灯は販売開始以来1箇年半を経過した現在三越、西武の両デパート、神戸市庁舎、電源開発、いすゞ自動車、外各種工場、プリンスホテルなどあらゆる分野に目覚しく進出し最近の受注は急激に増加、各界の好評を得ている。

日立スーパーラピッド蛍光灯の特長

- (1) グローランプが不要
- (2) 即時点灯する
- (3) 電源電圧に左右されにくい
- (4) 四重コイルフィラメントを使用しており点滅によりランプに及ぼす影響は少く、したがってランプの寿命はながい
- (5) ランプのガラス管内面に特殊透明導電膜を処理してあり器具には導電板不要



第15図 日立スーパーラピッド安定器

- (6) 取付け配線はきわめて簡単
- (7) ラジオ雑音がない

第1表 日立スーパーラピッド安定器仕様一覧

型 式	適 合 ラ ンプ (W)	電 圧 (V)	周 波 数 (~)	電 流 (A)	電 力 損 (W)	力 率 (%)	二 次 無 負 荷 電 圧 (V)	二 次 短 絡 電 流 (V)	型 式 承 認 番 号 (▽)		重 量 (kg)
									50~	60~	
41- R -15/16	40×1	100	50/60	1.02	11	50	215	0.58	10-1786	10-1787	2.1
41- R -25/26	40×1	200	50/60	0.51	11	50	215	0.58	10-1788	10-1789	2.1
41-RH-15/16	40×1	100	50/60	0.58	12	90	230	0.56	10-1544	10-1649	2.4
41-RH-25/26	40×1	200	50/60	0.29	12	90	230	0.56	10-1589	10-1286	2.4
42-RF-15/16	40×2	100	50/60	1.05	20	95	230	0.60	10-1565	10-1655	4.4
42-RF-25/26	40×2	200	50/60	0.53	20	95	230	0.60	10-1588	10-1587	4.4

編集後記

電力システムの自動周波数調整が発達するに伴って、水車および蒸気タービンの調速機の特性が大きな問題とされるようになったが、最近とくにこれが重要視されるようになったについては、二つの原因が考えられる。その一つは電源開発が進み電力不足が緩和されてきたことであり、他は各電力会社が数回にわたって行った系統特性試験によつて、電力系統の特性が次第にあきらかにされると共に、調速機の役割の重要さが認識されるに至つたことである。「最近における水車調速機の諸問題」は、最近の試験結果を基として考察された貴重な資料として注目に値するものであろう。

国際見本市が始まつた。年とともに盛大になり、内容外観ともに充実してゆくこの行事をみると、あの深刻な

不況をきりぬけて、未曾有の好景氣を迎えた日本経済の現実を、まざまざと見せられるような気がして頼もしい。しかし、この景氣に酔つて最近の国際収支は赤字増加という憂うべき様相を呈してきている。底の浅い日本経済を名実ともに強固なものとするためには、さらに緊縮一番すべき時であろう。その意味においてこの催しが盛大となつてゆくことは望ましいことであろう。

一家一言には日産化学工業栗西社長の玉稿を頂くことができた。栗西社長は、帰朝早々で御多忙をきわめておられる最中であるにもかかわらず、とくに本誌のために巻頭言をお寄せ下さつた御好意は感謝にたえない。我国産業の発展のために、原子力の開発利用が如何に重大な事業であるか、これは欧米の現状をつぶさに視察してこられた栗西社長の、生々しい体験の言葉である。

日立評論 第39巻 第5号

昭和32年5月20日印刷 昭和32年5月25日発行
(毎月1回25日発行)

< 禁 無 断 転 載 >

定価 1部 100円 (送料 12円)

© 1957 by Hitachi Hyoronsha

編集兼発行人 鈴木 万 吉
印刷人 本 間 博
印刷所 株式会社日立印刷所
発行所 日立評論社
東京都千代田区丸の内1丁目4番地
電話 千代田 (27) 0111, 0211, 0311
振替口座 東京 71824番
取次店 株式会社オーム社書店
東京都千代田区神田錦町3丁目1番地
振替口座 東京 20018番

広告取扱店 広 和 堂 東京都中央区新富町2丁目16番地 電話 築地 (55) 9028番